

首相演説前に爆発

男が筒投げ込む

和歌山 けがなし、容疑で逮捕

15日午前11時25分ごろ、岸田文雄首相が衆院和歌山1区補欠選挙応援のため訪れていた和歌山市の雑賀崎漁港で、街頭演説を始める前に筒状のものが投げ込まれ、爆発した。首相にけがはなく無事。演説会場を車で離れ避難し、同市内の県警本部へ移動した。県警によると、男1人を取り押さえ、威力業務妨害容疑で逮捕した。

投げ込まれた際、首相は爆発音とともに白い煙が上っていた街頭演説を取りやめた表情を見せたという。和歌山市消防局によると、現場を調べるため消防車2台を出勤させた。けが人の情報が入っていないという。

自民党候補者と話をしていたが、会場には焦げ臭いについた。爆発物は煙を噴き上げ、おいが漂い、聴衆らの悲鳴などで騒然となったという。首相は同漁港で予定したまで退避。首相は一瞬驚いた。首相は3月5日に衆院山口2、4区で衆参5補選に向けた地方行脚をスタートさせていた。

政治家への襲撃を巡っては昨年7月8日、安倍晋三元首相が参院選応援で訪れた奈良市で街頭演説中に銃撃され、死亡した。警察庁は要人警護体制を強化。4月の統一地方選、5月の先進7カ国首脳会議(G7広島サミット)に向けて警備の徹底を呼びかけていた。



②衆院和歌山1区補欠選挙の応援演説に訪れた雑賀崎漁港で手を振る岸田首相。15日午前11時18分、和歌山市

①岸田首相が衆院和歌山1区補欠選挙の応援演説に訪れた和歌山市の雑賀崎漁港で、発煙筒のようなものが投げ込まれ取り押さえられる男。15日午前11時31分

